



2024.4.16 第1号

森田 博

6年「植物のからだのはたらき」
じゃがいも袋栽培



理科の準備をしようぜ!! ~袋栽培ででんぷん観察~



私の担任発表は、今年もありませんでした。そこで、表現の自由を活用し、「理科やろうぜ!!」と空気でっぼうを飛ばしたものの、「しようぜ!!」と発しなければいけません。この着任式で発した言葉を、毎年理科専科通信のタイトルにしています。思いつきです。「科学する子どもたち」と詠ったCSTの共同研究。(今年は財団からの助成費はまだ未定です…) 理科好きの南郷里っ子が増えてほしいと思うのは、全国の小学校に3つの野球グローブを送った大谷選手の「野球する子が増えてほしい。」という思いと同じです。

授業後の児童の様子や授業の振り返り、実験の方法や教材、観察記録や児童の成果物等を理科通信「理科しようぜ!!」に掲載します。印刷はしません。カラー版ロイロで閲覧してください。また、子どもたちにも理科を発信。理科室前や印刷室前に掲示しようと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



じゃがいもは、種ではなく、芋から芽を出して育てます。種となる芋を種芋と言います。だいたい30~40gくらいの大きさに切って植えます。小さいものはそのまま植えます。切り口は腐らないように、天日干しをし、「じゃがいもシリカ」というじゃがいも用の灰をまぶして乾燥させます。栄養も満点です。肥料としても使えます。

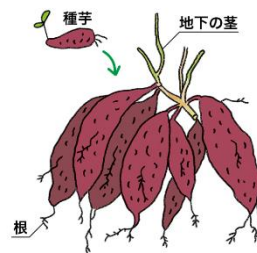
6年生「植物のからだのはたらき」では、じゃがいもの葉のでんぷんを調べます。アルミ箔で葉を覆って日光を当てない葉と当てた葉を調べ



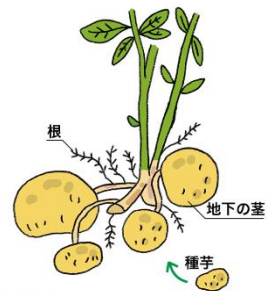
るため、それを理科室でできないかと、培養土の袋のまま、袋の中に直接種芋を植えます。(袋栽培) 水気があると腐りやすいので半日土を乾かしました。種芋は、芽が出ている部分を上向きに植えます。



図工室前が日当たりよい。 昨年度の袋栽培での実験。



根を食べるさつまいも
さつまいもを観察すると、表面にひびのような縦線があります。根が肥大化して芋になっています。大根やにんじんも、同じように根を食べています。



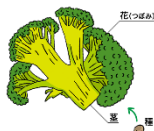
地下の茎を食べるじゃがいも
じゃがいもを観ると、白い茎の先にいちがついています。私たちの食べるじゃがいもは地下の茎なのです。れんこんや生薑も同様です。

さつまいもは根。じゃがいもは茎です!

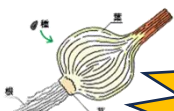
ワタミオーガニック新聞第9回→



実(種) 食べるトマト
果実の中心部は、心室と呼ばれる、トマトの種子を育てる場所です。果皮は食べません。



花(つぼみ) 食べるブロッコリー
花(つぼみ)は、花の蕾の部分を収穫し、食用します。茎は食べません。



葉を食べる玉ねぎ
玉ねぎの葉は、葉の部分を収穫し、食用します。球根は食べません。



トマトは実(種)、ブロッコリーはつぼみ、玉ねぎは葉を食べています。